

情報公開文書

研究の名称	尋常性疣贅に対するスキャナー搭載型 CO2 レーザー治療の有効性評価
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者	富山大学学術研究部皮膚科学教授 清水忠道
研究の概要	<p>【研究対象者】 2018年10月～2024年6月に尋常性疣贅診断に際してスキャナー搭載型 CO2 レーザー治療を行った患者様。</p> <p>【研究の目的・意義】 尋常性疣贅は皮膚科医であれば日常診療で高頻度に遭遇する、いわゆる common disease です。しかし、本邦の皮膚科学会からは未だ治療ガイドラインは作成されておらず、液体窒素や外用剤治療など各診療医の経験に頼った治療が漫然と行われているのが実情です。また CO2 レーザー治療を行った報告も散見されますが、手技やレーザー設定など確立されたものはありません。そこで、スキャナー搭載型 CO2 レーザー治療を行った尋常性疣贅において、その有効性を病理組織学的に評価することで、今後の明確な治療指針として情報を提供します。</p> <p>【研究の方法】 選定基準に基づいて選定した患者の診療記録より、情報を収集する。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2030年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 研究責任者は、研究終了後、研究対象者の個人情報保護に措置を講じた上で、遅滞なく研究結果を医学雑誌等に公表します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	本研究で取得される情報は年齢、性別、疣贅の罹患歴、発症部位、前治療、CO2 レーザー治療後の上皮化までの期間、治療効果、有害事象です。他機関への提供は無い。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学学術研究部皮膚科学教授 清水忠道
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7305 FAX 076-434-5028 E-mail konn0907@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 皮膚科 鹿見山 浩</p>